



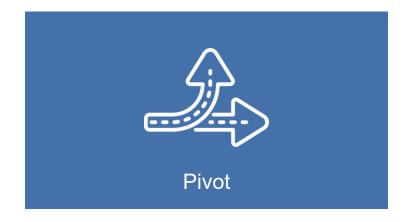
ALTIUM 事業アップデート



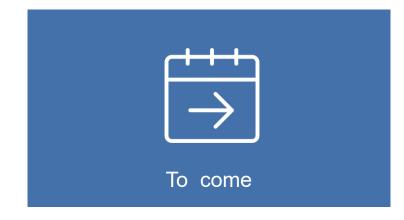




■ 売上シナジーを創出開始



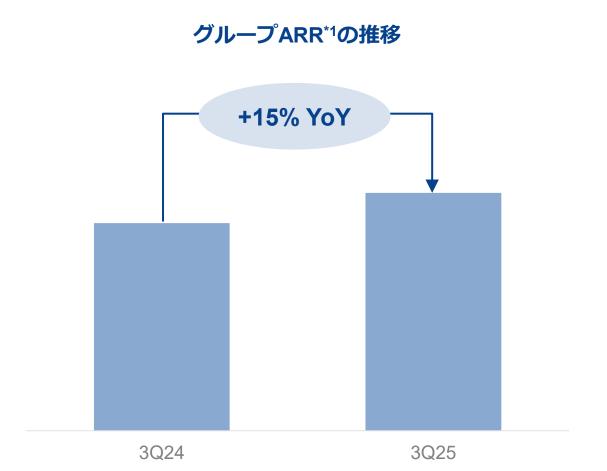
- プロダクト企業からプラットフォーム企業へ転換
- 事業規模拡大を加速
- Renesas 365を開発中



- Renesas 365は年内ローンチ予定
- 通期決算までにプラットフォーム KPIを設定 (例: up-leveling, new logos, Discoverへのトラフィック、 新規ユーザー)
- 2026 Capital Market Dayで進捗を 報告予定



現在までの進捗





コストシナジーを実現

1Q25末までに初期コスト削減を完了



オーガニックグロースを継続

グループARRは前年同期比15%増



売上シナジーを創出開始

エンタープライズ向けクロスセル施策から

推進開始



プロダクト企業から プラットフォーム企業へ転換

Renesas 365を開発中

収益認識基準を変更

^{*1.} ARRの定義: Annual Recurring Revenue ("ARR"、年間経常収益) はアクティブな顧客契約の年間換算額。 対象は期間契約型ライセンス、サブスクリプションサービス、パーペチュアルライセンスの保守、サーバーベースライセンス、Altium 365のサブスクリプション。年間換算額は契約総額÷契約日数×365で算出。 OctopartのARRは直近6か月の認識収益×2で算出



2025年第3四半期決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標 (以下Non-GAAPベース) を資料上開示しております。 Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値 (国際財務報告基準: IFRS) から非経常的な項目や その他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、当社グループ の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、翌四半期会計期間の業績予想をレンジにて開示し、通期の業績予想については、 第3四半期累計期間の実績に第4四半期会計期間の業績予想レンジを加えて開示しております。

注意事項

- **IFRS適用**: グローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、IFRSを任意適用しております。
- Non-GAAP業績値: 財務会計上の数値 (IFRS) から非経常的な項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除 もしくは調整したものです。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- **業績予想の開示方法**: 2019年12月期第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更し、「Non-GAAP ベース」にて売上総利益率・営業利益率を開示することといたしました。なお、売上総利益率および営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。
- 報告セグメントの集計方法: 2024年12月期第1四半期における組織変更に伴い、報告セグメントの集計方法について、従来の製品軸による集計方法から、売上収益を実際の用途に基づき集計する方法に変更しております。これにより、2023年12月期のセグメント情報については、変更後の集計方法に基づき作成したものを開示しております。
- **取得原価の配分 (PPA):** Transphorm, Inc. (以下旧Transphorm) および Altium Limited (以下旧Altium) との企業結合について、2024年12月期第4四半期において取得原価の配分の見直しを行いました。そのため、2024年12月期第2および第3四半期の数値について、取得原価の配分の見直しの内容を反映させております。

2025年12月期第3四半期決算概要

	2024年	12月期	2025年12月期									
(億円)	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月) 予想	第3四半期 (7-9月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比 ^{*1} (7/25時点)	9か月累計 (1-9月) 実績	前年同期比	予想比*1 (7/25時点)	
売上収益	3,453	10,559	3,246	3,300 (±75)	3,342	-3.2%	+2.9%	+1.3%	9,676	-8.4%	+0.4%	
売上収益 (為替影響除く)	-	-	-	-	-	-4.1%	+2.5%	+0.5%	-	-10.2%	+0.2%	
デバイス売上収益*2 (為替影響除く)	-	-	-	-	-	-4.3%	+2.7%	+0.7%	-	-11.9%	+0.2%	
売上総利益率	55.9%	56.4%	56.8%	56.5%	57.6%	+1.7pts	+0.8pt	+1.1pts	57.1%	+0.6pt	+0.4pt	
営業利益 (率)	984 (28.5%)	3,225 (30.5%)	919 (28.3%)	27.0%	1,032 (30.9%)	+48 (+2.4pts)	+113 (+2.6pts)	(+3.9pts)	2,789 (28.8%)	-436 (-1.7pts)	(+1.3pts)	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	860	2,885	778	-	882	+22	+104	-	2,393	-492	-	
EBITDA*3	1,214	3,880	1,102	-	1,225	+11	+124	-	3,363	-517	-	
1米ドル=	154円	151円	146円	145円	146円	8円 円高	0円 円安	1円 円安	149円	2円 円高	0円 円安	
1ユーロ=	168円	164円	162円	169円	170円	2円 円安	8円 円安	1円 円安	164円	0円円高	0円 円安	

^{*1:} 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比 *2: 報告セグメントから旧Altium除く売上収益 *3: 営業利益+減価償却費及び償却費



2025年12月期 第3四半期 売上収益・売上総利益率・営業利益率

NON-GAAP

	全社合計	自動車 向け事業	産業・インフラ・loT 向け事業
売上 収益	3,342億円 予想比: +1.3% QoQ: +2.9%	1,592 億円 予想比: + QoQ: -1.6%	1,737 億円 予想比: + QoQ: +7.6%
売上 総利益率	57.6% 予想比: +1.1pts QoQ: +0.8pt	55.3% QoQ: +2.8pts	59.9% QoQ: -1.2pts
営業利益率	30.9% 予想比: +3.9pts QoQ: +2.6pts	35.3% QoQ: +12.0pts	28.3% QoQ: +2.4pts

予想比

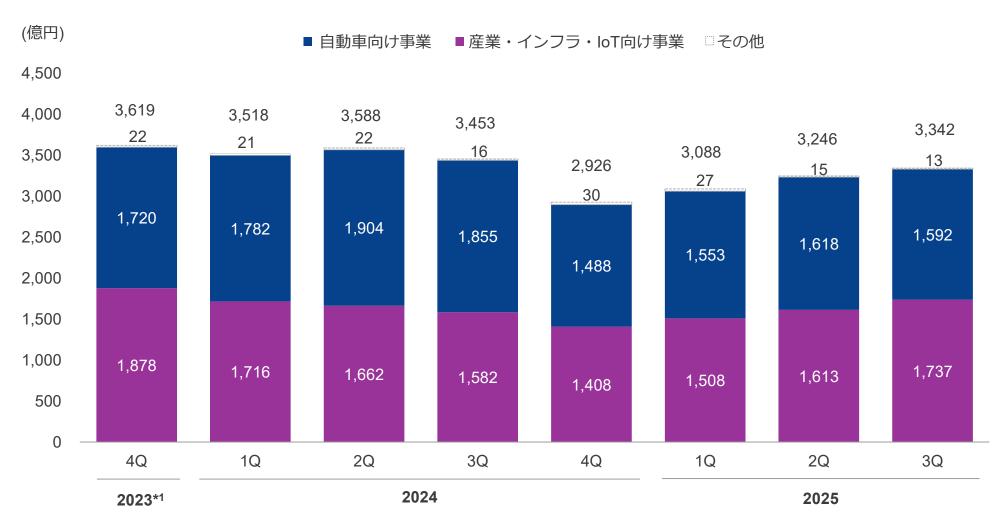
- ✓ 売上収益: →
- ✓ 売上総利益率: ♣
 - (+) ミックス改善、稼働増
- ✓ 営業利益率: 🛨
 - (+) 研究開発費の4Q25へのシフト、 営業費用削減、売上総利益増

QoQ

- ✓ 売上収益: +
- ✓ 売上総利益率: →
 - (+) 円安、稼働増、製造費用減
- ✓ 営業利益率: 🛨
 - (+) 営業費用減、売上総利益増

売上収益 四半期推移

NON-GAAP



売上収益

YoY: -3.2% QoQ: +2.9%

自動車向け事業

YoY: -14.1% QoQ: -1.6%

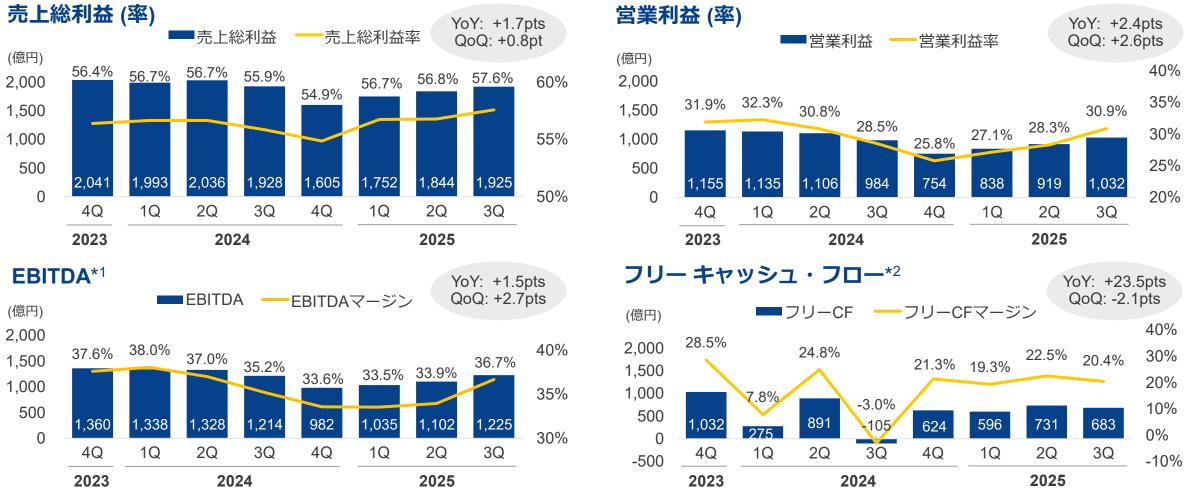
産業・インフラ・

loT向け事業

YoY: +9.8% QoQ: +7.6%

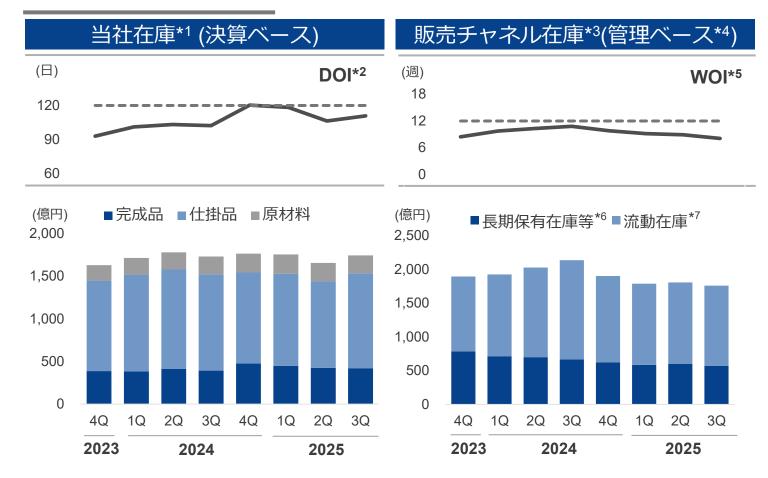
^{*1: 2023}年12月期のセグメント売上収益は変更後の集計方法に基づき作成したもの

業績推移



^{*1:} 営業利益+減価償却費及び償却費 *2: 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー ; 投資キャッシュフローは子会社の取得による支出、子会社株式の条件付取得対価の決済による支出、関係会社株式の取得による支出、Wolfspeed社への 預託金提供による影響及び事業譲渡による収入を除く

在庫状況



当社在庫/DOI

✓ 3Q実績:増加

仕掛品:ダイバンク拡充

✓ 4Q見通し:増加

仕掛品:ダイバンク拡充

完成品:年初出荷のための拡充

チャネル在庫/WOI

✓ 3Q実績:減少

セルスルー上振れによる減

✓ 4Q見通し:減少

自動車:セルスルー並みの出荷により横ばい 産業・インフラ・IoT:セルスルー増により減

*1: 2024年第2四半期より旧Transphorm分を含む

*2: DOI : DOI (Days of Inventory) = 当該四半期末棚卸資産残高 / 当該四半期売上原価 (Non-GAAP) × 90

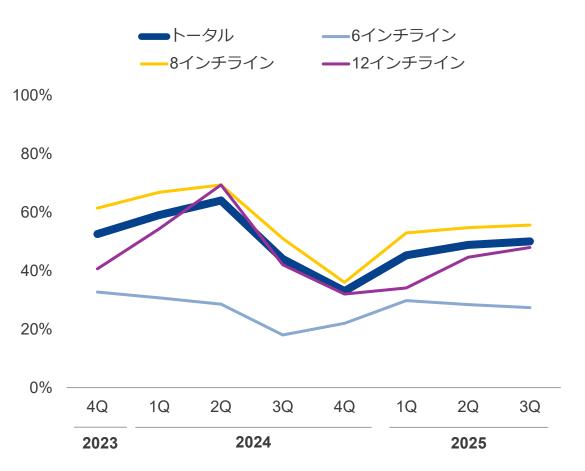
*3: チャネル在庫 : 日系顧客向けの特約店と海外のディストリビューターの在庫総量、旧Transphorm分は含まない

*4: 管理ベース : 2024年第4四半期決算より、在庫価格の定義を販売チャネル簿価から正味売価に変更(過去実績も遡及して更新)

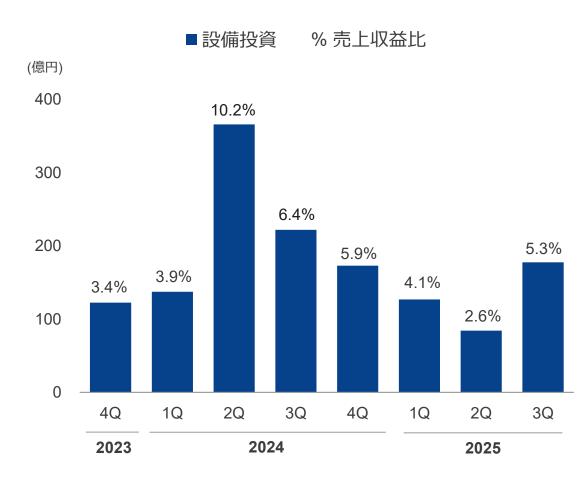
*5: WOI : WOI (Weeks of Inventory) = 当該四半期末チャネル在庫 / (当該四半期チャネル売上原価/13週) 。なお、在庫管理上、適切なWOI算出のためチャネル在庫から特殊な長期保有在庫等を除いた在庫残高を使用
*6: 長期保有在庫等 : 保有期間が特殊な在庫 (生産終了品 (EOL) 、イーコマース用在庫等) *7: 流動在庫: チャネル在庫ー長期保有在庫等

稼働率*1及び設備投資額の状況*2

前工程稼働率 (ウェハ投入量ベース)



設備投資額の状況



^{*1:} 旧Intersilおよび旧Transphormを除く

^{*2:} 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは不一致。ただし、旧Dialogおよび旧Altium投資分は設備納入ベースの金額を使用

2025年12月期 第4四半期及び通期予想

	2024年	12月期	2025年12月期								
(億円)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 予想中央値 (レンジ) ^{*1}	前年同期比	前四半期比	通期 (1-12月) 予想	前年同期比			
売上収益	2,926	13,485	3,342	3,400 (±75)	+16.2% (±2.6pts)	+1.7% (±2.2pts)	13,076 (±75)	-3.0% (±0.6pt)			
売上収益 (為替影響除く)	-	-	-		+11.3%	+0.6%	-	-5.5%			
デバイス売上収益*2 (為替影響除く)	-	-	-	-	+13.6%	+0.4%	-	-6.4%			
売上総利益率	54.9%	56.1%	57.6%	57.0%	+2.1pts	-0.6pt	57.0%	+1.0pt			
営業利益率	25.8%	29.5%	30.9%	27.5%	+1.7pts	-3.4pts	28.5%	-1.0pt			
1米ドル=	149円	151円	146円	150円	0円 円安	3円 円安	149円	2円 円高			
1ユーロ=	162円	164円	170円	175円	13円 円安	5円 円安	167円	3円 円安			
				2025年12月期 第4四	坐期 予想		米ドル	ユーロ			
*1: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比	*1. 冬数値は売上収益予相したぶの中中値との対比						17 億円	2 億円			
*2: 報告セグメントから旧Altium除く売上収益			1円変動あたりの変動	YEI .	営業利益	7 億円	1 億円				

RENESAS

APPENDIX

本パートでは、セグメント情報やGAAP (IFRS) 準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

セグメント別の売上収益および売上総利益

			2	024年12月期	Į.			2025年12月期						
(係	意円)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月)	前年同期比	
売	上収益	3,518	3,588	3,453	2,926	13,485	3,088	3,246	3,342	-3.2%	+2.9%	9,676	-8.4%	
	自動車	1,782	1,904	1,855	1,488	7,028	1,553	1,618	1,592	-14.1%	-1.6%	4,764	-14.0%	
	産業・インフラ ・loT	1,716	1,662	1,582	1,408	6,368	1,508	1,613	1,737	+9.8%	+7.6%	4,858	-2.1%	
	その他	21	22	16	30	89	27	15	13	-19.3%	-11.4%	55	-6.9%	
売. (率	上総利益	1,993 (56.7%)	2,036 (56.7%)	1,928 (55.9%)	1,605 (54.9%)	7,563 (56.1%)	1,752 (56.7%)	1,844 (56.8%)	1,925 (57.6%)	-4 (+1.7pts)	+81 (+0.8pt)	5,520 (57.1%)	-437 (+0.6pt)	
	自動車	934 (52.4%)	1,024 (53.8%)	966 (52.1%)	754 (50.6%)	3,678 (52.3%)	811 (52.2%)	849 (52.4%)	880 (55.3%)	-86 (+3.2pts)	+31 (+2.8pts)	2,540 (53.3%)	-384 (+0.5pt)	
	産業・インフラ ・loT	1,056 (61.6%)	1,002 (60.3%)	958 (60.6%)	842 (59.8%)	3,858 (60.6%)	933 (61.9%)	986 (61.1%)	1,040 (59.9%)	+82 (-0.7pt)	+54 (-1.2pts)	2,959 (60.9%)	-57 (+0.1pt)	
	その他	4 (17.5%)	9 (41.9%)	4 (24.8%)	10 (32.7%)	27 (30.0%)	6 (23.4%)	5 (31.4%)	3 (22.2%)	-1 (-2.6pts)	-2 (-9.2pts)	14 (25.2%)	-3 (-3.4pts)	
	調整額*1	0	0	0	0	0	2	4	1	+1	-3	8	+8	

^{*1:} 非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けたものなど



セグメント別の営業利益およびEBITDA*1

		2024年12月期					2025年12月期						
(億	意円)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月)	前年同期比
宫 (率	業利益	1,135 (32.3%)	1,106 (30.8%)	984 (28.5%)	754 (25.8%)	3,979 (29.5%)	838 (27.1%)	919 (28.3%)	•	+48 (+2.4pts)		2,789 (28.8%)	-436 (-1.7pts)
	自動車	574 (32.2%)	627 (32.9%)	567 (30.6%)	457 (30.7%)	2,225 (31.7%)	462 (29.7%)	379 (23.4%)	563 (35.3%)	-4 (+4.8pts)	+184 (+12.0pts)	1,403 (29.5%)	-364 (-2.4pts)
	産業・インフラ ・loT	558 (32.5%)	470 (28.3%)	420 (26.6%)	286 (20.3%)	1,734 (27.2%)	322 (21.4%)	418 (25.9%)	491 (28.3%)	+71 (+1.7pts)	+73 (+2.4pts)	1,232 (25.4%)	-216 (-3.8pts)
	その他	4 (17.5%)	9 (41.9%)	4 (24.8%)	-3 (-9.1%)	14 (15.9%)	-5 (-17.8%)	3 (20.3%)	3 (21.0%)	-1 (-3.9pts)	-0 (+0.7pt)	1 (1.7%)	-16 (-27.0pts)
	調整額*2	0	0	-8	14	6	59	119	-25	-17	-144	153	+161
EB	BITDA	1,338	1,328	1,214	982	4,862	1,035	1,102	1,225	+11	+124	3,363	-517
	自動車	686	755	703	588	2,732	574	486	670	-32	+184	1,730	-413
	産業・インフラ ・loT	649	564	515	382	2,109	406	494	578	+62	+84	1,478	-249
	その他	4	9	4	-2	15	-4	3	3	-1	-0	2	-15
	調整額*2	0	0	-8	14	6	59	119	-25	-17	-144	153	+161

^{*1:} 営業利益+減価償却費及び償却費



^{*2:} 非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けたものなど

バランスシートの状況

GAAP

(億円)	2024年 3月末	2024年 6月末	2024年 9月末	2024年 12月末	2025年 3月末	2025年 6月末	2025年 9月末
資産合計	32,337	36,630	42,016	44,904	41,955	38,722	40,127
うち 現金及び現金同等物*1	2,318	2,884	2,391	2,292	1,776	2,111	2,384
うち 棚卸資産	1,714	1,781	1,731	1,765	1,756	1,657	1,745
うち のれん	14,538	15,891	20,367	22,562	21,345	20,679	21,256
うち 無形資産	4,179	4,630	6,852	7,248	6,536	6,108	5,979
負債合計	10,314	11,953	20,574	19,481	18,732	18,359	17,704
うち 有利子負債*2	5,329	6,194	15,116	14,228	13,779	13,466	13,043
資本合計	22,023	24,677	21,442	25,423	23,223	20,363	22,423
D/Eレシオ (グロス)*3	0.24	0.25	0.71	0.56	0.59	0.66	0.58
D/Eレシオ (ネット)*4	0.14	0.13	0.59	0.47	0.52	0.56	0.48
親会社所有者帰属持分比率*5	68.0%	67.2%	50.9%	56.5%	55.2%	52.5%	55.8%
レバレッジレシオ (グロス) (倍)*6	0.9	1.1	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0
レバレッジレシオ (ネット) (倍) ^{*7}	0.5	0.6	2.4	2.5	2.6	2.6	2.5
期中平均株式数 (自己株式を除く) (百万株)	1,779	1,789	1,792	1,794	1,796	1,807	1,811

^{*1:} 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成

^{*2:} 借入金 (流動負債) +借入金 (非流動負債) +リース負債 (流動負債) +リース負債 (非流動負債) +社債の合計

^{*3:} 有利子負債/親会社の所有者に帰属する持分 *4: (有利子負債-現金及び現金同等物)/親会社の所有者に帰属する持分 *5:親会社の所有者に帰属する持分/負債及び資本合計

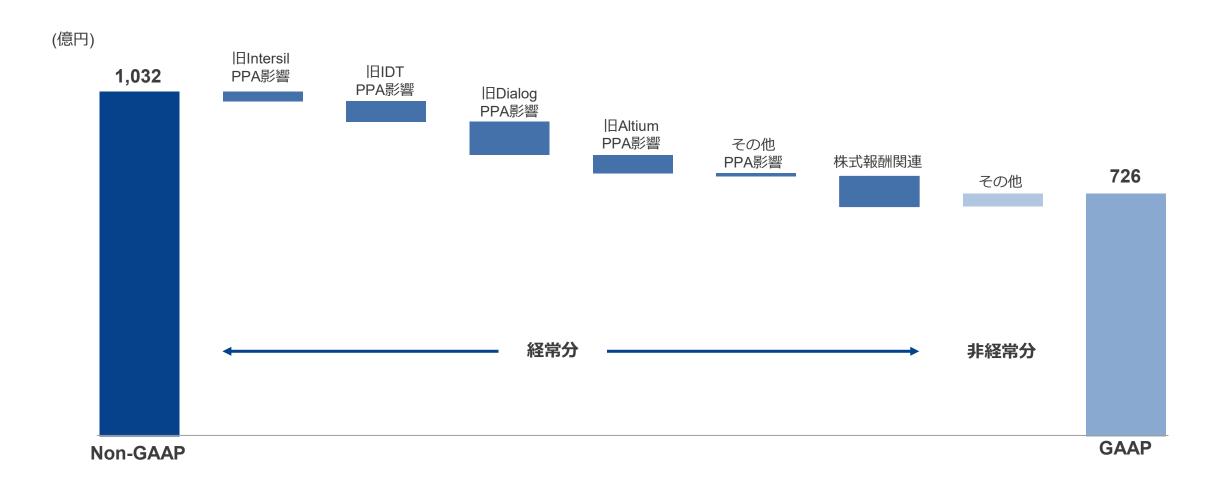
^{*6:} 有利子負債/EBITDA ただし、EBITDAはNon-GAAPベース *7: (有利子負債 - 現金及び現金同等物)/EBITDA ただし、EBITDAはNon-GAAPベース

GAAPとNON-GAAP間の調整項目

(億円)	2024年12月期									2025年12月期			
(1천다)		第3匹	1半期							第3匹	1半期		
	売上総利益	営業利益	当期利益*1	EBITDA	売上総利益	営業利益	当期利益*1	EBITDA	売上総利益	営業利益	当期利益*1	EBITDA	
Non-GAAP (売上収益比)	1,928 (55.9%)	984 (28.5%)	860 (24.9%)	1,214 (35.2%)	7,563 (56.1%)	3,979 (29.5%)	3,604 (26.7%)	4,862 (36.1%)	1,925 (57.6%)	1,032 (30.9%)	882 (26.4%)	1,225 (36.7%)	
経常項目	-11	-426	-373	-100	-39	-1,586	-1,392	-363	-8	-345	-314	-91	
旧Intersil PPA影響	-1	-31	-23	-	-3	-120	-92	-	-1	-29	-24	-	
旧IDT PPA影響	-1	-141	-125	-	-4	-554	-490	-	-1	-62	-55	-	
旧Dialog PPA影響	-1	-106	-85	-	-4	-415	-335	-	-1	-99	-93	-	
旧Altium PPA影響	-	-37	-28	-	-	-92	-71	-	-	-55	-42	-	
その他 PPA影響	-	-12	-11	-	-	-42	-41	-	-	-9	-9	-	
株式報酬費用	-8	-100	-100	-100	-28	-363	-363	-363	-6	-91	-91	-91	
非経常項目	4	-24	90	-24	-26	-163	-21	-162	6	39	494	39	
Non-GAAP調整項目合計	-7	-450	-283	-124	-65	-1,749	-1,413	-525	-2	-306	180	-52	
GAAP (売上収益比)	1,922 (55.7%)	534 (15.5%)	577 (16.7%)	1,090 (31.6%)	7,498 (55.6%)	2,230 (16.5%)	2,191 (16.2%)	4,337 (32.2%)	1,923 (57.3%)	726 (21.7%)	1,063 (31.7%)	1,174 (35.0%)	

^{*1:} 親会社の所有者に帰属する当期利益

2025年12月期 第3四半期 連結営業利益 NON-GAAPからGAAPへのブリッジ



2025年12月期 第3四半期 決算概要

GAAP

	2024年	12月期	2025年12月期								
(億円)	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月)	前年同期比			
売上収益	3,453	10,559	3,255	3,354	-2.9%	+3.0%	9,697	-8.2%			
売上総利益率	55.7%	55.9%	55.7%	57.3%	+1.7pts	+1.6pts	56.4%	+0.4pt			
営業利益(率)	534 (15.5%)	2,009 (19.0%)	398 (12.2%)	726 (21.7%)	+192 (+6.2pts)	+328 (+9.4pts)	1,339 (13.8%)	-670 (-5.2pts)			
親会社の所有者に帰属する当期利益 (損失)	577	1,973	-2,013 ^{*1}	1,063*2	+485	+3,076	-691	-2,664			
EBITDA*3	1,090	3,553	836	1,174	+84	+338	2,767	-786			
1米ドル=	154円	151円	146円	146円	8円 円高	0円 円安	149円	2円 円高			
1ユー□=	168円	164円	162円	170円	2円 円安	8円 円安	164円	0円 円高			

^{*1: 2025}年第2四半期に、Wolfspeed社への預託金に関して2,350億円の評価損を計上 *2: 2025年第3四半期に、Wolfspeed社への預託金に関して445億円の評価益を計上

^{*3:} 営業利益+減価償却費及び償却費

WOLFSPEEDに関する最新状況

資産構成 資産価値 RSA*1締結後の資産・持分 20末 3Q末*3 (完全希薄化ベース) P/L 8.74 億米ドル (1,301億)*4 2.04億米ドル B/S 第2順位担保付転換社債 5.75 億米ドル (発行済株式総数の12%に相当) (833億)*4 普通株式 (発行済株式総数の18%に相当) Wolfspeed Wolfspeed 時価総額 時価総額 新株予約権*2 16.4 億米ドル 27.1 億米ドル 株価 28.6 米ドル

2025年第3四半期の財務影響

時価評価により 7/L 2.99億米ドル (445億円)*4 の利益

第2順位担保付転換社債を取得 B/S 普通株式、新株予約権は、CFIUS承認*5 完了までは代替的権利を保有

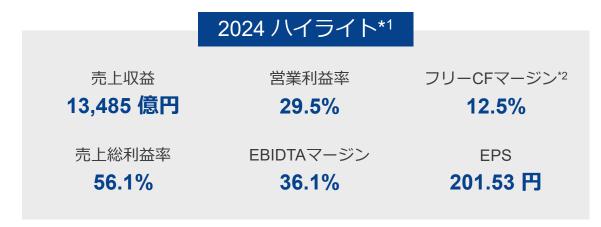
今後の対応

- CFIUS承認*5
- 株主権を一部制限することで、 Wolfspeedの持分法適用による財務 影響から隔離

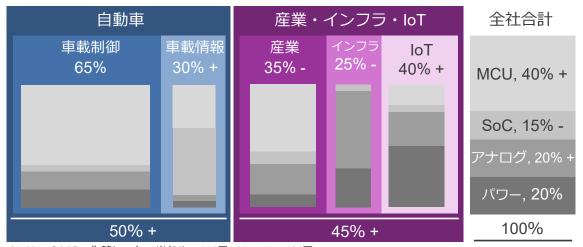
- *1: RSA (Restructuring Support Agreement): 再建支援契約
- *2: 完全希薄化後ベースで5%、評価額22.5億ドルで設定
- *3: 2025年9月29日にWolfspeedがChapter 11に基づく再建手続きを完了。3Q末 (2025年9月30日) のWolfspeed時価総額の前提は、経営陣インセンティブ・プランおよび長期インセンティブプランを含む。イン・ザ・マネーの転換社債は転換されたものとして算出。新株予約権の行使に伴って生じる株式の増加数は自己株方式で算出
- *4: 為替レート: 2Q末 1米ドル 145円、3Q末 1米ドル 149円、第3四半期財務影響 1米ドル 149円
- *5: 米国連邦政府の閉鎖が続く間、予定日は自動的に延長される見込



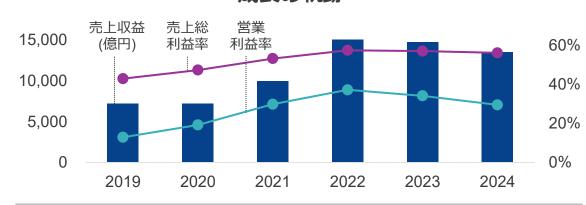
RENESAS AT A GLANCE



売上収益構成



成長の軌跡*1



2035 アスピレーション - 時価総額6倍 内訳



*1: Non-GAAP、為替レート: 1米ドル = 151円 1ユーロ = 164円

*2: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー;投資キャッシュフローは子会社の取得による支出、子会社株式の条件付取得対価の決済による支出、関係会社株式の取得による支出及びWolfspeed社への預託金提供による影響を除く

Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサスエレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサスエレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサスエレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサスエレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサスエレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

